

より良い未来のために

2015年1月9日

クローバー・アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 多根 幹雄

明けましておめでとうございます。

これからの時代を考える際、私が一番期待している点が、知識や知恵の共有です。何故人類が圧倒的な発展を遂げることが出来たのか？それは、一人ひとりの人間が一生で得た知恵や知識や経験を、言葉や文字によって次の世代へ蓄積することが出来たからだと思います。どんな優秀な人間であれ、先人の知恵無くしては天才になり得ません。

そして現在、デジタルネットワークの発達によって、恐ろしく膨大な知識や知恵に、誰でも簡単にアクセスできる時代になりました。さらに、自らのアイデア、経験、知識も多くの人に知らしめることも可能になりました。これは人類史上かつてない快挙です。人類の発明や発見は今後飛躍的に加速していくことでしょう。

一方で懸念もあります。それは貧富の差の拡大です。現在でも、世界に大きな争いの火種が散在している重大な原因の一つが、この貧富の差の拡大にあると思っています。最近、世界的に話題になっている著書に トマ・ピケティ氏の「21世紀の資本」がありますね。日本語版ではなんと5,940円もする分厚い経済書が、世界的なベストセラーになっており、賛否さまざま意見を生んでいます。彼の基本的な主張は、「資本から生まれる所得」と、「働いて生む所得」では、大きな戦争とか一部の時期を除いて、常に「資本から生まれる所得」の方が大きくなっていること。そのことが、貧富の差をますます拡大させているということです。彼はこれを制御するため、国際的な資本の把握や、資本に対する累進課税を提唱していますが、格差解消のために私たちがやるべきことは別にあるように思います。

そのひとつは、我々も資本を利用するということです。貯金が無い人も、毎日少しずつでいいから積み立てて、自分だけではなく、お金にも働いてもらうのです。その一番身近な方法が、積み立て式の長期投資だと思っています。もともと無一文同然から富豪になった人々も、自らの働きの稼ぎだけでそうなったものではありません。その多くが起業するなど、資本の力を活用しているのです。

もうひとつは、少し余裕が出来て経済的自立が確立されたなら、そのお金を自分のためではなく、世の中のために還元することです。寄付でもいいですし、若い起業家に投資するのも良いかもしれません。税として国に吸い上げられ、かれらに使い方をゆだねるよりも、皆が世の中を良くするためにはどんなお金の使い方をすれば良いかを真剣に勉強して、自らが主体になって良いお金の使い方をすれば、きっとより良い世の中になっていくと思います。

クローバーとしても今年は、「はじめる」「ふやす」はもちろんですが、「いかす」セミナーにも力を入れて、お金の活かし方を皆様と一緒に勉強していきたいと思っています。本年もよろしくお願い致します。

セミナーのご案内



クローバー遅めの新年会 in 浪花

変更になりました

【日時】 2015年1月24日(土) 17:00~19:00

【会場】 メガネの三城 心齋橋本店3Fサロン
大阪府中央区心齋橋筋1-4-26

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 40名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信会長
多根 幹雄 弊社代表



澤上 篤人氏



貯金がない人こそ投資をはじめよう！

【日時】 2015年1月25日(日) 10:30~12:00

【会場】 メガネの三城 神戸三宮店
神戸府中央区御幸通8-1-14 S・ヨシマツビル9F

【費用】 無料(交流会はありません)

【定員】 40名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信会長
多根 幹雄 弊社代表



多根 幹雄



「未来にタネをつなぐ」

【日時】 2015年1月30日(金) 18:00~20:00

【会場】 ポーラ銀座ビル 4Fミキシムギンザ内
東京都中央区銀座1-7-7

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 33名

【講師】 株式会社四季根彩
宮本大丸、太田浩史、堀越浩二



四季根彩メンバー
固定種・無化学肥料・無農薬にこだわった野菜づくりに取り組んでいます

お申込み

クローバー・アセットマネジメント

03-6262-3923

または

gyoumu@clover-am.co.jp

『時 × 空』投資で創る自由な未来

clover
asset management

■当セミナーでは、クローバー・アセットマネジメント株式会社が設定・運用・販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。■投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。■当セミナーで示された数値、見通し等は、講演会開催時点のものであり、その正確性を保証するものではなく、将来予告なく変更されることがあります。将来の企業業績、市場環境の変化および運用成果等を保証するものではありません。

ファンド概況

基準価額	12,580円	純資産総額	3,609百万円
設定日	2013年4月15日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

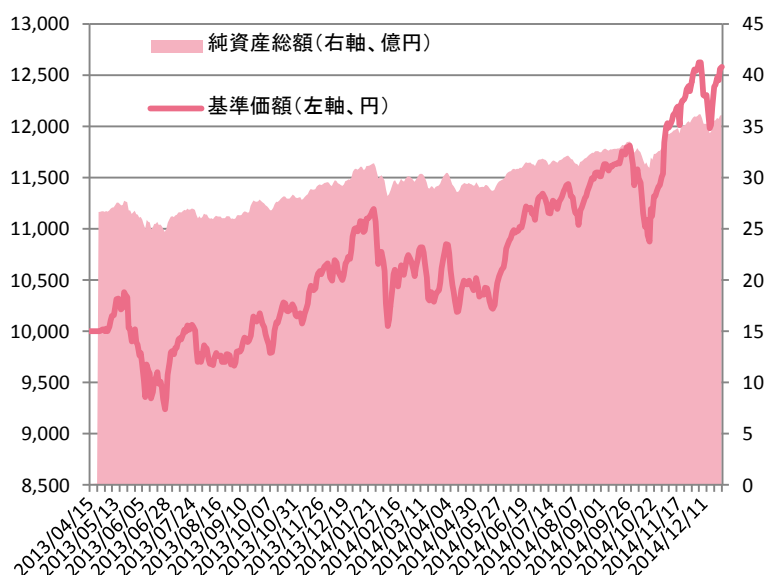
期間別騰落率(%)

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
1.95	6.52	13.45	14.36	—	25.80

分配金(円)

1期 ('14/2/25)	2期	3期	累計
0	—	—	0

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

12月の株式市場は、大変激しい値動きとなりました。

米国市場は、月初順調に高値更新していましたが、原油の大幅な下落、欧州・中国経済の減速懸念等で中旬に大きく下げました。すでに、最高値を更新し続けてきた中で、調整のきっかけが重なったという印象でしょうか。ドルも大きく下落しました。しかし中旬以降、FOMCから「金利引き上げは、急がない」というメッセージが出され、クリスマスまでは安定的に値を戻してきました。

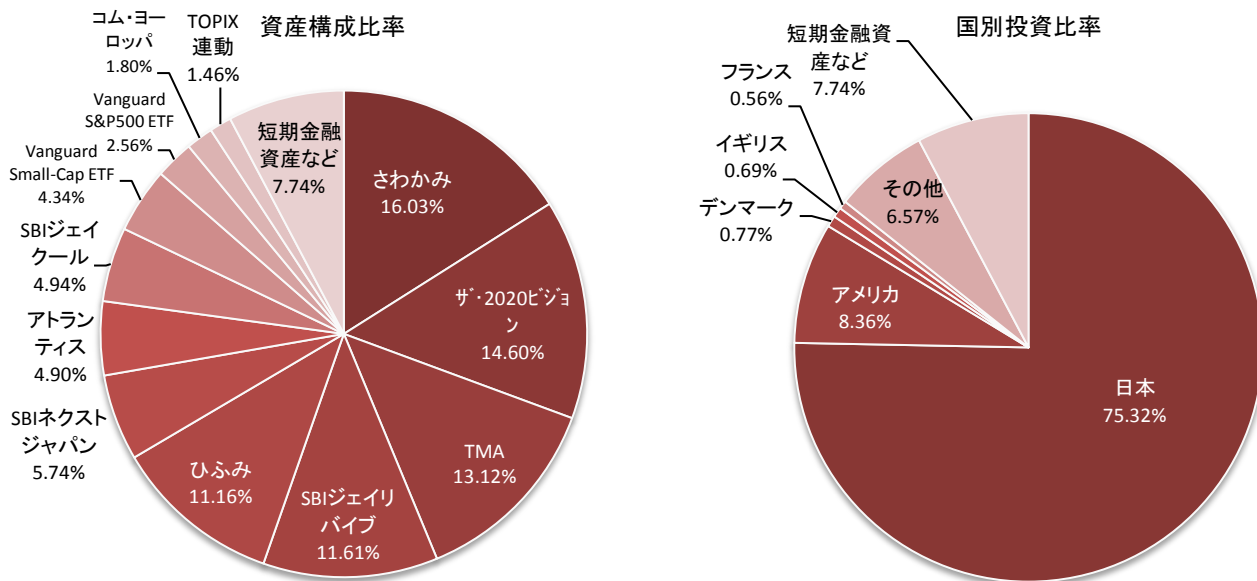
日本の株式市場も外的要因で大変激しい値動きとなりました。月はじめは衆院選での自民優勢の憶測の中、値を上ましたが、やはり、中旬の米国市場の下げの影響を受け、ドル円は116円台となるなどで大きな影響を受けました。後半は、米国市場の安定とともに値を戻しましたが、参加者の少ない年末に値を下げ、結局わずかなマイナス圏で2014年の取引を終えました。

こうした中、コドモファンドは、中旬の調整局面でTOPIX ETFを安値で買い入れました。結果、ひふみ投信、SBI中小型割安成長株ファンド、ジェイリバイブ、さわかみファンドの貢献もあり、基準価額は、前月比+1.95%となりました。

今後も、こうした外部要因による調整局面はあると思いますが、特に日本市場においては、日銀の金融緩和政策の継続、法人税減税、企業統治の強化、原油安の恩恵、またさまざまな規制緩和が徐々にではありますが期待され、今年は確実に日本株式市場を押し上げてゆくことは間違いないと考え、アメリカの金利政策には注意を払いつつも「大きく下げたら買い」という姿勢で臨むつもりであります。

今年もよろしくお願いたします。

ポートフォリオの状況



※アトランティス・ジャパン・オポチュニティーズ・ファンドおよびザ・2020ビジョンについては2014年11月末の情報を使用しております。

コドモファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率 (ETFは除く)

(組入れ銘柄数: 540銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入れ比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	0.994%	さわかみ
2	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	0.773%	さわかみ
3	富士通	通信システム、情報処理システムおよび電子デバイスの製造・販売ならびにこれらに関するサービスの提供	0.613%	ザ・2020ビジョン
4	CYBERDYNE	サイバニクス技術が駆使されたロボットスーツ HAL®を、医療・介護・福祉、重作業、エンターテイメント等で展開するために設立された大学発ベンチャー	0.599%	ザ・2020ビジョン
5	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	0.564%	TMA長期投資
6	大林組	国内外建設工事、地域開発・都市開発・海洋開発・環境整備・その他建設に関する事業、及びこれらに関するエンジニアリング・マネージメント・コンサルティング業務の受託、不動産事業ほか	0.555%	ザ・2020ビジョン
7	野村ホールディングス	野村証券を中心とした子会社で構成される金融サービスグループ	0.555%	ザ・2020ビジョン
8	明治ホールディングス	「菓子」「乳製品」「健康、栄養機能食品」「薬品」など各分野の製品を製造	0.511%	ザ・2020ビジョン
9	花王	家庭用・業務用の洗剤・トイレ用用品の製造・販売	0.500%	さわかみ
10	エア・ウォーター	総合ガス企業	0.472%	TMA長期投資

ファンドの特色

①「長期投資」

世界経済は大きなサイクルでダイナミックに変化しており、それに伴って、株式や債券、商品、不動産等の資産価格も変動しています。短期的な動きには追従せずに、長期的な視点で世界を俯瞰した運用を行います。

②「分散投資」

政治・経済の様々なリスクに対応するために、国や地域、資産そして時間を分散させます。分散投資をより効率的に行うために、国内外の複数のファンドに投資します。

③「厳選したファンド」

当ファンドの目的や運用方針を共有できる運用会社を厳選し、その会社が運用するファンドに投資します。また組入れにあたっては、国内外のETF(上場投資信託証券及び上場投資証券)に投資する場合があります。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.08%(税抜き1.0%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.7±0.25%(概算)
その他費用・ 手数料	信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

業務管理部からのお知らせ

松の内のにぎわいも過ぎてようやく平穏な日々が戻って参りました。
寒さも厳しさを増してまいりましたが、皆様お変わりございませんでしょうか。

【「平成26年分特定口座年間取引報告書」の発送について】

「平成26年分特定口座年間取引報告書」は、特定口座を開設したお客様へ販売会社が作成・交付するものです。**なお今回は、年間一度もご換金（解約）されなかったお客様について交付を省略させていただいております。交付ご希望のお客様は、弊社までお申し付けください。**

本報告書は、確定申告される場合に必要な書類となりますので、大切に保管してください。

【「取引残高報告書」の発送について】

「取引残高報告書」はお預かり残高とお取引の明細を四半期毎に作成・交付するものです。今回（2014年10月～12月期）は、期間中にお取引（売買等）があったお客様、および取引がなくても残高をお持ちで、最後の取引から1年が経過しているお客様に交付しております。対象となるお客様のうち、残高がある方は、12月末時点の基準価額での時価評価が記載されておりますのでご確認ください。

【トータルリターン通知について】

投資信託を購入されたお客様に対して、損益の状況を販売会社がわかりやすく示すことを義務づける「トータルリターン通知制度」が2014年12月より実施されました。この通知制度は、お客様が保有される投資信託について、分配金や一部解約も含めた損益を把握いただくものです。

当社におきましてはこの通知制度開始にあたり、当面はお客様からのご照会時にトータルリターンを口頭、もしくは書面で回答させていただきます。

ご自身のトータルリターンをお知りになりたい方は、下記当社業務管理部までお問合せください。

【「お客様マイページ」サービス開始について】

2015年3月中旬、お客様のサービスの向上とお手続き利便性向上を目的として、当社ホームページにお客様専用Webサイト「お客様マイページ」を開設する予定です。「お客様マイページ」は、「電子交付サービス」をお申込みいただいているお客様専用のサービスで、ご自宅のパソコンから、資産状況の確認、各種報告書の電子交付、各種お手続き書類の請求が可能となります。「お客様マイページ」サービス開始についてのスケジュールおよびお手続きの方法については、あらためてご案内申し上げます。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部 （受付時間：平日9時～17時）
TEL:03-6262-3923 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります）に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。